

◇ 『ロジ研会員の皆様へ』

ロジスティクス研究会員

城東支部支部長 永嶋 信一

〔亀戸運送(株) 代表取締役〕



城東支部支部長の永嶋です。支部長の大役を仰せつかりまして、早1年が経過いたします。この1年間様々な出来事がありました。私自身がこの1年間に一番感じたことは、月並みな言葉ではありますが、「人間1人では何もできない」ということです。

今年の1月25日に、城東支部創立50周年記念式典を開催しました。

この式典には、当日はもとより数か月前から4名の副支部長や青年部のメンバーたちの大変な協力をいただき、支部執行部の力を結集し大成功に終わりました。改めて、人と人との絆・和ということを再認識いたしました。極端な言い方をすれば、トラック協会に参加する意義とは、この一つの目的に向かって結集する力をもとに全員で目標を成し遂げること、また、その時間を人生の中で良き仲間と共有することにあるのではと思います。

さて、ロジ研についてですが、先日の総会に久しぶりに参加させて頂き感じたことは、伏見総務委員長をはじめ、執行部のメンバーが本当に若返っていることに驚きを感じました。ロジ研の新しい執行部が、藤倉本部長を中心として、前述しました私の勝手な思いを感じていただければ、また、新しいエネルギーと発想力で、我々トラック業界が抱える人手不足をはじめとした様々な問題に立ち向うことを願いながら、私のご挨拶とさせていただきます。私自身も、ロジ研会員として、微力ながらお手伝いをさせて頂く考えでおります。

本部ロジ研も未知の世界。そこで感じる事は、支部長として交わる方々とロジ研の一員として出会う方々。ロジ研の方が「濃いな・・・」という印象です。ロジ研という「場」がそれを生んでいるのでしょうか。良く言えば（別な言い方は紙面の都合で割愛です）自由かつ先鋭的、型にハマらない意見交換や情報発信の場としてのポテンシャルを感じます。自らをそこに置き、様々な発見や気づき、何より「濃い人達」との繋がりを得られることを嬉しく思います。私は自らを薄味キャラだと理解しております故、先輩方の「濃さ」の一点の中和剤となれたら幸いです。

◇ 『おやじの独り言』

副本部長・広報委員長 中村 克敏

〔株中彦運送 代表取締役〕



ロジ研広報委員長を仰せつかっております中村でございます。日頃は「ひびき」をご愛読頂き、誠にありがとうございます。「ひびき」は東ト協の中核を担う、錚々たるロジ研のメンバーの経験、思い等をメンバー自らの出筆により構成されています。今後も、東ト協の発展の為の足がかりの提起として発行を続けていきたいと思っております。

さて、私事ではございますが、このたび、末っ子の長男が、難産に難産を重ね、企業三社から内定を頂きました。高校受験、大学受験、大学院受験すべてにおいて、親大バカではございますが、私自ら見送りをしてまいりました。さすがに、社会人に成ろうとしている愚息の見送りはしませんでした。やはり、就活をしている様子を妻より聞き、一抹の不安がありました。彼には、高校生の時にすでに、「パパの会社を逃げ道にするな。後を受け継ぐか、他の方向を目指すかしっかり決めろ」と言ってきました。私が、大学卒業の時に、自分の夢を捨てて家業の跡取りを買って出た経緯もあり、愚息には好きな道を歩ませてあげたいと思った事が発端です。私は、先代より受け継ぎ、零細ながらも多少は規模を大きくしました。しかしながら、三代目の愚息は、他の道で人生を歩いていく決断をしました。身内への事業の継承がすべてとは思いません。また、社員の将来も考えてあげなければなりません。

愚息が就活を終えて新たな道を歩み出すと同時に、おやじは「第二の人生」への就活を始める覚悟を決めました。現在56歳の私も、後10年「就活」をしていけば、新たな「道」も開けるでしょう。そして、新たな「道」は次世代につなげる糧となる事でしょう。もう一度、気持ちを引き締めて邁進しようと思っております。

◇ 『未経験を活かす』

ロジスティクス研究会員

練馬支部支部長 田中 秀明

〔東京港運送(株) 代表取締役〕



みなさまこんにちは、練馬支部の田中です。

昨年、支部長を拝命し東ト協本部デビューとなりました。新参者の私はこの一年、本部で会う方々の名前と顔を一致させるという業務に勤しんで参りました。

協会活動の「経験不足」を「新鮮な視点」という強みに変えて事に当たる所存です。どうぞよろしくお願い致します。

◇ スケジュール 《○ロジ研行事予定》

- 7/19 (水) 15:00～ 正副本部長会議 (東ト総合会館 4階)
- 7/19 (水) 17:00～ 三組織連絡会 (La Boqueria)
- 8/ 2 (水) 15:00～ 正副本部長会議・納涼会 (明治記念館)